

晴読雨読

『わかりやすい医中誌 Web 検索ガイド：検索事例付』

諏訪部直子、平 紀子／共著

東京 日本医学図書館協会

2013年10月25日発行

A4版 102p 定価1,800円＋税



医中誌 Web の使い方を利用者に説明する時、みなさんはどのように説明されているだろうか。実際に検索しながら、あるいは医学中央雑誌刊行会から発行されている検索ガイドを見せながら、または自館の所蔵アイコンをつけたオリジナルの検索ガイドを作成して……そんな私たちの強い味方となる書籍が刊行された。本書は、ログイン方法や契約方法といった基本的な使い方から網羅的な検索方法まで、検索例を交えて具体的に紹介されている。

著者は長年、大学の医学図書館で医中誌 Web を使われ、検索指導を行ってこられたとまえがきにある。そのため、医中誌 Web のユーザーである医療従事者や、それ以外の初めて医中誌 Web を利用する方でも理解できるように考えられているようだ。全てのページがカラーで、検索画面の画像が適所に使われており、とても見やすい。

日常的に医中誌 Web を使っていても、つい直感的に検索してしまうことが多い。本書を読み、いろいろと便利な機能を使いそびれていたことに気付かされた。

そして、本書の何より注目すべき点は、それぞれの章に適した検索事例やポイントが紹介されていることであろう。特に、V章の「テーマによる検索例」で解説されている「肺癌から転移した胃癌について検索する」は、つい最近、癌の転移について調べていて「意図しない結果（ノイズ）」に苦戦したところであったので、まさに目から鱗であった。また、シソーラスにマッピングされない検索用語は、用語を分けて考えるといった検索のポイントははじめとするテクニックも紹介されている。これらは、すぐにでも検索の実践で活用できる。

他に、医学中央雑誌および医中誌 Web に関する5つのコラムがある。国立国会図書館による医学中央雑誌のデジタル化など最近の取り組みがわかりやすく解説されており、今後の医中誌 Web への期待が膨らんだ。『『医学用語シソーラス』の改訂と医中誌 Web 検索』についてのコラムは、シソーラス検索の際に頭においておかねばならないポイントである。こちらも例を交えて解説されており、参考になった。カウンターや検索用 PC の傍らに置いて、わからない時に開くだけでなく、ぜひ時間のある時に検索例と同じように検索してみると、より検索テクニックが理解でき、いざという時に役立つだろう。病院図書館員はもちろんのこと、これから研究を始めるという医療従事者にも、文献検索の前にまず本書を紹介しようと思う。

私が病院図書館員になって間もない頃に参加した第13回医学図書館員基礎研修会でレファレンス演習の講義をしてくださった方が、本書の著者の諏訪部さんであった。その時の丁寧でわかりやすい講義同様、細部まで気遣われた丁寧な仕事ぶりが本書にも発揮されている。今後も医中誌 Web のリニューアルとともに、改訂されていくことを期待する。

(洛和会音羽病院図書室／藤原 純子)